

# 海ごみ問題解決をめざす高校生会議報告書

特定非営利活動法人 グリーンパートナーおかやま  
2023年12月26日

日時：2023年12月26日

場所：岡山ふれあいセンター（岡山市中区桑野）

主催：特定非営利活動法人 グリーンパートナーおかやま

後援：瀬戸内オーシャンズ X 推進協議会

岡山市、倉敷市、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会、岡山市 ESD 推進協議会

海ごみ問題解決をめざす高校生会議

開会は藤原理事長の挨拶ではじまりました



第1部 14:10～14:40 専門家から学ぶ  
基調講演

基調講演は日本財団海洋事業部シニアオフィサーの 塩入 同 氏が海洋プラスチックごみについて講演を行いました。



続いて

オンラインセミナーとしてウェブ参加の issue+design 白木 彩智 氏が社会に溢れる課題 (ISSUE) を、社会や地域の課題を市民の創造力で解決し、安心して暮らせる社会が実現することし、海ごみ問題の解決について、講演しました。



## 第2部

### 海ごみ問題解決をめざす高校生会議

日頃から、瀬戸内海の家ごみの回収活動などを行っている岡山の中学生、高校生が、国会議員、県会議員、市議会議員の方に質問や提言を行いました。壇上に議員の方が14名上がり、会場からは高校生が質問する形をとりました。壇上に上がっていない議員もたくさんいました。参加者は予定の120名を超えていました。



議員さん方は、中高生の質問に耳を傾け分かりやすくお答え頂きました。困った顔から笑い声ありの楽しい高校生会議でした。



最後は参加者の集合写真です。



12月28日付の山陽新聞都市圏版に掲載されました。

井原さん16は、汚れたプラスチック資源を回収する自治体もある。岡山県では資源ごみとして回収する自治体もある。同じ運用をすべきだ」と述べた。

こうした意見に対し、壇上の副会議員や地方議員が回答。ポイ捨て禁止表示の義務化に賛同する声もあり真に汚れた資源の回収には、先進事例を参考に、皆さんと一緒に考えていきたいと述べた。

日本財団理事兼部シニアオフィサーを務める藤岡さん16は、汚れたプラスチック資源の回収も、瀬戸内海に閉じ込められていない海ごみは毎年80万トン発生している。資源ごみや半農など、み取り難い資源を回収し、効率よく回収する検証実験の実